

4 / 27 (火) の発表

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 4月27日(火) 17時00分

発表項目 (行事名)	令和3年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰の管内受賞者について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>環境省では、自然環境の保全に関する顕著な功績があった者（又は団体）を表彰し、これを讃えるとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的に、平成11年度から毎年度、『「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰』を行っておりますが、令和3年度の受賞者が発表され、宗谷管内から次の団体が選ばれましたのでお知らせします。</p> <p>なお、表彰の詳細等は別添資料のとおりです。</p> <p>【受賞団体】 浜頓別町 特定非営利活動法人 クッチャロ湖エコワーカーズ</p> <p>【受賞部門】 いきもの環境づくり・みどり部門</p> <p>【受賞功績】 平成19年よりコハクチョウをはじめとした渡り鳥のターミナルであるクッチャロ湖の環境保全・再生活動に取組、地元産のどんぐりから育てたミズナラ等を植栽、クッチャロ湖の水質保全のために清掃活動等の動植物の生息環境づくり活動に尽力。</p>		
参考	<p>例年「みどりの月間」中に表彰式が開催されておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、本年度は中止となりました。</p> <p>なお、表彰状は5月中に直接届けられます。</p>		

報道（取材） に当たって のお願い	受賞された団体の功績を道民の皆様へ広く認知いただけるよう、積極的な報道についてよろしくお願ひします。		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	宗谷総合振興局保健環境部環境生活課 環境生活課長 瀧澤 克昌 電話 ダイヤルイン 0162-33-2919 自然環境係長 曾我 浩二 電話 ダイヤルイン 0162-33-2922		
-------------	---	--	--

令和3年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞者

【保全活動部門(10件)】

計24名

No.	受賞者	功績概要	推薦元
1	たなか としかつ 田中 利勝 (千葉県)	平成2年より江戸川や利根川をはじめ、千葉県東葛飾地域における動植物の生態観察や継続的な調査活動及びこれらの保全活動に取り組むとともに、その取り組みについて情報発信を行う等の自然環境保護活動に尽力。	千葉県
2	おんじゆくまちみやこたなごほぞんかい 御宿町ミヤコタナゴ保存会 (千葉県)	平成11年より御宿町に生息するミヤコタナゴの保護に取り組み、以来今日までミヤコタナゴに関する保護の普及啓発活動、保護区内の清掃、生息水路における環境の維持管理、違法捕獲の監視活動等のミヤコタナゴの生息状況回復に尽力。	千葉県
3	さとう ひとし 佐藤 仁志 (島根県)	昭和62年より日本野鳥の会島根県支部にて活動し、長年、県内外問わず、探鳥会や自然観察会の講師を務め、また、県固有種であるイズモコバイモの保全活動等の多岐に渡る自然環境保護活動に尽力。	島根県
4	とくしまけんりつじょうせいこうとうがっこうかみやまこう 徳島県立城西高等学校神山校 (徳島県)	平成5年より徳島県神山町に自生する希少植物「ジンリョウユリ」のバイオテクノロジーによる増殖活動に取り組み、自生に適した環境作りや動物の食害対策を施すなどのジンリョウユリの保護活動に尽力。	徳島県
5	うわじまりつじょうなんちゅうがっこう 宇和島市立城南中学校 (愛媛県)	昭和53年よりハマユウの保護活動を行い、県下随一のハマユウ群落地を形成する普及活動、ハマユウの育苗を沖の島へと移植する活動、沖の島のゴミの清掃及び食害対策としてハマオモトトウの幼虫の駆除等のハマユウの保護活動に尽力。	愛媛県
6	あやのしょうようじゅりんぶろじえくとれんけいかいぎ 綾の照葉樹林プロジェクト連携会議 (宮崎県)	平成17年より宮崎県綾町の綾北川及び綾南川の流域に残された原生的な照葉樹林の保護・復元を行い、良質な照葉樹林を後世に継承する保護活動に尽力。	宮崎県
7	とくていひえいりかつどうほうじん おがさわらかいようとうけんきゅうかい 特定非営利活動法人 小笠原海洋島研究会 (東京都)	平成16年より小笠原、父島、及び周辺無人島の海岸環境の美化清掃活動、小笠原村内の子ども向けに環境教育の取り組みといった自然保護の啓蒙活動、オガサワラハンミョウや希少トンボ類3種の希少昆虫類の生息地確保といった環境整備活動等の自然環境保護活動に尽力。	関東事務所
8	おがわ さえこ 小川 早枝子 (埼玉県)	昭和57年よりサクラソウ・ノウルシなど希少な動植物の保全管理のために、NPO法人エンハンスネイチャー荒川・江川を立ち上げ、江川下流域等の生態系を守るためのトラスト活動等、多面的な自然環境保護活動に尽力。	公益財団法人 日本生態系協会
9	なかむら まさゆき 中村 雅之 (福岡県)	平成7年よりシロワニの飼育・調査活動を行い、小笠原諸島、父島に生息する同種の調査や自然界における系統群の調査活動等の情報をまとめ、シロワニの保全活動について尽力。	公益社団法人 日本動物園水族館協会
10	でぐち としひさ 出口 智久 (宮崎県)	昭和52年より宮崎県の天然記念物であるアカウミガメの産卵等の調査研究、ピーチクリーン、生態に関する啓発講習といった活動や、NPO法人宮崎野生動物研究会を立ち上げアカウミガメの保護活動に尽力。	公益社団法人 日本動物園水族館協会

【いきもの環境づくり・みどり部門(6件)】

No.	受賞者	功績概要	推薦元
11	とくていひえいりかつどうほうじん くつちやろこえこわーかーず 特定非営利活動法人 クッチャロ湖エ コワーカーズ (北海道)	平成19年よりコハクチョウをはじめとした渡り鳥のターミナルであるクッチャロ湖の環境保全・再生活動に取り組み、地元産のどんぐりから育てたミズナラ等を植栽、クッチャロ湖の水質保全のために清掃活動等の動植物の生息環境づくり活動に尽力。	北海道
12	ひろさきかんきょうぱーとなーしゅぶにじゅういち ひろさき環境パートナーシップ21 (青森県)	平成14年よりだんぶり池において貴重な生物の生息場の維持整備活動、親子や各種団体を対象とした環境教育学習の場として観察会といった普及啓発活動等の動植物の生息環境整備活動に尽力。	青森県
13	とくていひえいりかつどうほうじんあさざきん 特定非営利活動法人アサザ基金 (茨城県)	平成11年より霞ヶ浦とその流域の植生帯の復元や水源となる山林や水田の保全、外来魚駆除等の活動、湖の再生事業活動、市内各校へ環境学習といった普及啓発活動等の水質環境の整備に尽力。	茨城県
14	とくていひえいりかつどうほうじん びおとーぶてんじんのさとをつくるかい 特定非営利活動法人 ビオトープ天神の 里を作る会 (茨城県)	平成16年度より休耕田を池や水路にする整備活動、オオムラサキやヘイケボタル等の生育活動、環境学習会の開催による普及啓発活動等の動植物の生息環境づくりに尽力。	茨城県
15	いなしきかりのさととものかい 稲敷雁の郷友の会 (茨城県)	平成14年より稲波干拓におけるオオヒシクイの越冬状況調査活動、干拓地内の環境調査等を経てオオヒシクイの保護および越冬地の保全対策活動、各種団体の自然環境学習の普及啓発活動等のオオヒシクイの保全・生息環境づくりに尽力。	公益財団法人 日本鳥類保護 連盟
16	かしわぎ さとし 柏木 聰 (神奈川県)	平成19年より富士箱根伊豆国立公園箱根地域の傷病野生鳥獣への治療看護等の野生鳥獣の保護活動、食性・生態の動向といった調査活動等の動植物の生息環境づくりに尽力。	一般財団法人 自然公園財団

【自然ふれあい部門(5件)】

No.	受賞者	功績概要	推薦元
17	もおかじどうかん やさしくらぶ 真岡児童館 やさしくらぶ (栃木県)	平成15年より磯山において学童生徒を中心に森林保全及び環境美化のための清掃活動、森林の景観保全について考えるミーティングといった普及啓発活動などの学童児童向けの自然環境学習活動に尽力。	栃木県
18	しおばらおんせんびじたーせんたーうんえいきょうぎかい 塩原温泉ビジターセンター運営協議会 (栃木県)	平成5年より日光国立公園塩原地域において、年間100件以上ものプログラムを企画・開催し、来訪者に向けて普及啓発活動等の自然とのふれあい活動に尽力。	栃木県
19	とくていひえいりかつどうほうじん しずおかかんきょうきょううい 特定非営利活動法人 しずおか環境 教育研究会 (静岡県)	平成元年より主催事業に加え、行政・教育機関・企業と連携した環境教育事業に取り組み、実施件数は全事業で年間400回を超え、地域に根付いた環境教育プログラムや市民指導者育成等の自然環境学習活動に尽力。	静岡県
20	しぜんとぶんかのもりきょうかい 自然と文化の森協会 (兵庫県)	平成14年より猪名川や猪名川自然林において、猪名川自然林の観察会、ホテルやセミの羽化の夜間観察会等といった学校や各種団体に向けた自然体験・環境学習活動に尽力。	兵庫県
21	ゆだ むつお 湯田 六男 (群馬県)	昭和54年より白根山の森林ボランティア活動、母狸沢の水芭蕉復元、コマクサ保全、外来植物除去活動など幅広く活動し、登山者へのインタープリター(自然・歴史ガイド等)を務め、自然環境学習活動に尽力。	信越事務所

【調査・学術研究部門(3件)】

No.	受賞者	功績概要	推薦元
22	いざわ こうせい 伊澤 紘生 (宮城県)	昭和37年より金華山をはじめとする宮城県内の各地ニホンザルの生態調査を行っており、宮城県におけるニホンザルの個体管理手法をの確立。また、ニホンザルの生態を解説する著作を出版、各地で講演を行うなど、ニホンザルに関する調査研究・普及啓発に尽力。	宮城県
23	やべ たかし 矢部 隆 (愛知県)	平成11年より、外来種を含めた各種カメの生態や分布を明らかにし、国の外来種対策検討等に貢献。全国の多くの自治体の生物多様性保全施策に有識者として助言を行う等、各種カメに関する調査研究に尽力。	愛知県
24	おきの とみお 沖野 登美雄 (愛媛県)	平成10年より「愛媛きのご観察会」を結成し、研究者の育成やきのこに関する県民への普及活動等に取り組み。愛媛県的高等菌類について調査を行い、愛媛県レッドデータブックの作成・改訂等、植物・菌類に関する調査研究に尽力。	愛媛県

令和3年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰について

環境省では、自然環境の保全に関する顕著な功績があった者（又は団体）を表彰し、これを讃えとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的に、平成11年度から毎年度、『「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰』を行っています。

令和3年度は、個人10件、団体14件の計24件が選ばれました。

令和3年度の表彰数等について

(1) 表彰数 24件（個人10件・団体14件）

（被表彰者名及び功績概要は別添1のとおり）

(2) 対象分野

[1] 保全活動部門（10件）

貴重な自然や身近な自然などの保全のため特色ある活動を推進した者等

[2] いきもの環境づくり・みどり部門（6件）

地域における野鳥や小動物の生息環境の創出

あるいは日々の暮らしの中でのみどりの普及等を推進した者等

[3] 自然ふれあい部門（5件）

自然とのふれあいに関する各種活動や行事を推進した者等

[4] 調査・学術研究部門（3件）

自然環境の保全・創造や自然とのふれあいに関する調査、研究で顕著な功績がある者等